

メディア と方言

日本大学文理学部国文学科
日本語基礎演習 2

はじめに

ローカルヒーローと メディアと方言

観光・土産の宣伝に 使われる方言

—ヴァーチャル方言のWeb vs 実店舗—

メディアに現れる 関西弁

方言キャラクターの 比較

—漫画とアニメ、日本語版と韓国語版—

ニセ方言使用の 意識と実態

あとがき

観光・土産の宣伝に 使われる方言

—ヴァーチャル方言のWeb vs 実店舗—



3.4 実店舗調査結果

0312154 宮寺ひかり

3.4.1 調査概要

実施日：平成25年11月5日 場所：東京都銀座、有楽町

3.4.2 調査結果

図6 方言を使用している都道府県

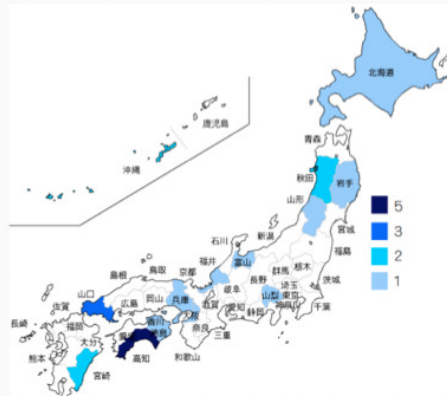
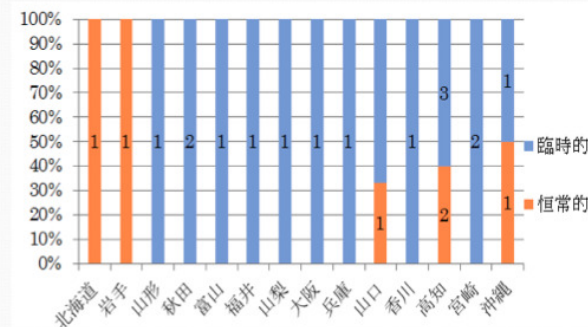


図7 方言使用の恒常性



全国42都道府県店舗のうち北海道、岩手、秋田、山形、富山、福井、山梨、大阪、兵庫、山口、徳島、香川、高知、宮崎、沖縄の1道1府13県が方言を使用していた。高知県が5つで最も多く、次いで山口県の3つだった。(図6)

また方言使用の恒常性について調べたところ、図7と図6を比べてみると、図6で方言使用数の多い高知県、山口県、沖縄県は図7において恒常性が見られることがわかった。

また、実店舗における方言使用には併用物があるものがあつた。そのうちのほとんどの併用物がキャラクターであり、ご当地キャラやゆるキャラであることがわかった。

3.4.3 実店舗調査のまとめ

実店舗において方言を使用しているのは全体の3分の1程度であり意外と少ない。また最も多く方言を使用しているのは高知県で、5つ。続いて山口の3つ。方言は看板(臨時的掲示物)に最も多く使用され、～○○。と文章の最後にくる語尾の形が半数以上を占めている。また、方言使用数が多い県はより掲示の恒常性が高く、方言と併用されるのはその地域に関係のあるキャラクターが多かった。

→ 3.1 調査概要

→ 3.2.観光協会Webサイト(滝本圭佑)

→ 3.3.楽天Webサイト(矢野裕里恵)